



SISTER CITIES NEWS

姉妹・友好都市ニュース

International Friendship Association of Ibaraki

Vol.57 2011.12.15

茨木市国際親善城市協会

2011

July 19th - 23rd, 2011



茨木市少年サッカー訪問団

CONTENTS 目次

● 茨木市少年サッカー訪問団派遣	2
● 小豆島町への市民訪問団派遣	4
● 第28回英語スピーチ大会報告、JICA研修員とのふれあい交流	5
● 中国語教室、We Are Friends、大阪大学留学生センターホストファミリープログラム	6
● 茨木市からのお知らせ、協会総会、姉妹都市活動室、実用日本語学習会	7
● 国際交流の集い、英語学習ツアー募集、その他お知らせ	8

茨木市少年サッカー訪問団派遣・U



開会式典のようす

7月17日(日)から7月26日(火)にかけて、アメリカ・ミネソタ州で開催された「USA杯・青少年サッカー大会」に出場するため、茨木市少年サッカー訪問団24人が派遣されました。連日35度を超える猛暑の中、選手たちは予選リーグを1位で通過し、決勝トーナメントにおいても決勝戦でブラジルのチームに敗れるまで勝ち抜き、アンダー14の部・準優勝という、茨木市少年サッカー訪問団としては過去最高の成績をおさめました。選手たちにとっても貴重な経験となり、「交流に感動した」「また行きたい」といった感想が多数寄せられました。

アメリカ遠征

茨木市少年サッカー訪問団・選手 土肥 永樹

僕がこのアメリカ遠征で学んだ事で一番印象に残っている事は、「人との接し方」です。アメリカや他の外国の人は皆挨拶をしっかりしていました。そして皆親切な人ばかりでした。マナーを守っていたという事も印象に残っています。日本でも守っている人はいるのですが、アメリカの場合自由な国柄からか、一人一人の日本人達とは違う「守らなければ」という意識からではなく、自由だからこそ「自分がやらなければ」という所で日本とは一味違った「人との接し方」が出来るという事を思いました。

自分が行ったホームステイ先の人も自分達のこと(試合)を最優先に考えてくれたので、僕もいいコンディションで試合に臨むことが出来ました。そして一つホームステイ先の事で驚いたことがあります。それはプレイオフの日の集合前の車で8歳と6歳のミンとキムと今日の夜Wiiで遊ぶ約束をしていたのですが、帰りの車で僕は疲れていたで眠たくなっていました。それに気づいたミンとキムに「Are you tired?」と聞かれました。しかし僕は約束



があったので「No.」と答えました。しかしミンとキムは僕の事を気遣ってくれてまた今度と、言ってくれました。この事で僕は、幼い時から皆からアメリカの自由な国柄から来る「人との接し方」を受けているので、そういう気遣いが出来るのだと感動しました。

このホームステイ家庭の人達のおかげで僕は一日一試合35分、ハーフ決勝においては一日二試合というハードな日程を乗り越えられたと思います。そのホームステイ先の人達は応援にも来てくれ、決勝で汚れたスパイクをアームッドさんが洗ってくれたり本当にいい経験を出来たと思います。やはりサッカーをするにも近くにいる人やこの機会を与えてくれた人、その環境が大切と気付きました。

このアメリカ遠征に携わった人たちすべてに感謝し、その人達のおかげで準優勝という素晴らしい結果を残せたと思います。この遠征で学んだ「人との接し方」をこれからも活かしていきたいです。



ボールコントロールプログラムのようす

茨木FC・試合結果〈予選リーグ〉

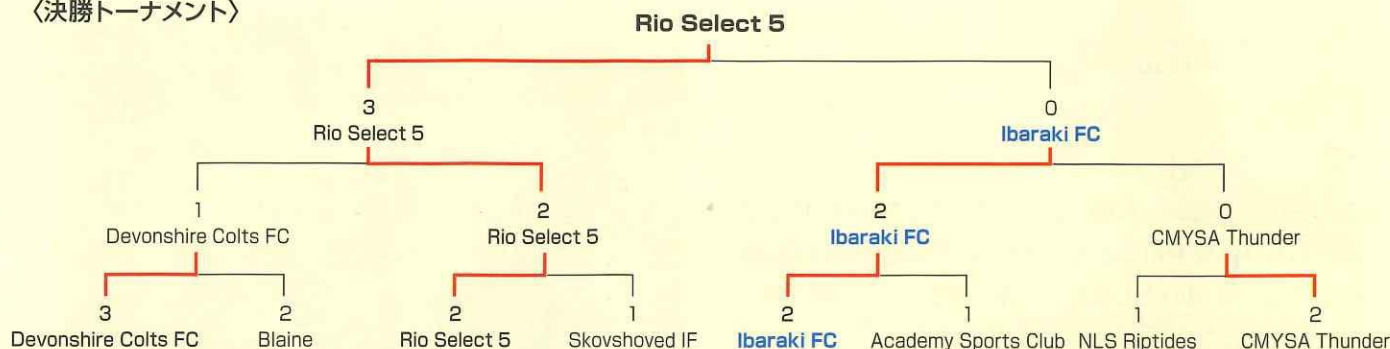
第1試合 Ibaraki FC 10 : 1 LAYSA Lakers (アメリカ)

第2試合 Ibaraki FC 4 : 3 PTSC (カナダ)

第3試合 Ibaraki FC 3 : 1 Colegio San Luis Gonzaga (エクアドル)

SA杯準優勝!!

〈決勝トーナメント〉



ミネアポリス市への訪問

茨木市少年サッカー訪問団・監督 猿橋 啓晃

なでしこジャパンがW杯決勝でアメリカを破り、見事優勝を成し遂げた記念すべき日に、私たち茨木市少年サッカー訪問団はアメリカのミネソタ州へと降り立ちました。目的は姉妹都市であるミネアポリス市で開催されるサッカーの国際的な大会であるシュワズ・カップ (USA Cup) に参加することでした。

W杯の熱気がまだ残る中で私たちを待っていたものは、意外にも歓迎と祝福でした。9日間という滞在期間のなかで、アメリカ、そしてミネアポリス市をどれだけ理解できたかという、正直全くです。しかし、大会期間中の盛り上がりや街の雰囲気、何より私たちのホームステイを受け入れていただいたホストファミリーをはじめとする大会関係者、大会ボランティアの皆さんの温かさ、気さくさ、おおらかさはミネアポリス市が素晴らしい街であることを感じさせてくれました。女子サッカーが大変盛んな街らしいのですが、代表が負けた悔しさも感じないくらいの暖かい歓迎に本当に驚きました。



表敬訪問のようす

その色々な人たちに用意していただいた素晴らしい環境の中で、私たち訪問団はいつも以上の力を発揮し、運をも味方にし、見事準優勝する事ができました。子供たちは初めてのことだらけの異国の地で本当に良く頑張ったと思います。多少のトラブルやハプニングはありましたが、どれも良い経験になり、良い思い出となったに違いありません。また今後、親善の架け橋となれる活動のチャンスがあれば、積極的に参加させて頂きたいと思えます。



表彰式後、みんなで記念写真

Next Challenge!!

今回は7年ぶりの派遣でしたが、協会では今後も継続的な派遣を予定しています。次回は2013年(平成25年)の実施を計画中です。



市民訪問団が小豆島町を訪問しました！

10月15日(土)から16日(日)にかけて、市民訪問団16名が小豆島町を訪れました。現地では大迫力の「布団祭り」を見学したり、日本三大渓谷美の一つである寒霞溪の景色を楽しんだりしました。参加者の大西幸枝さんの感想をご紹介します。

小豆島町訪問記 10月15日～16日

大西幸枝

今回の小豆島行きは、何年も前から久し振りに行きたいと思いつつも、一人ではねと考へたりしていました。お誘いがあり、茨木市子ども会育成連絡協議会の役員にお声かけし、実現いたしました。市こ連四名と一緒にさせていただきました。

一昔小豆島訪問団で参加させていただいたことはありましたが、でも何より小豆島町他、おまつりの日に訪問し、ふとん太鼓が何台もあり、町をあげてのみごとな太鼓で、お年をめされた方や若い方などのかつぎ手のみごとな団結力でふとん太鼓をあやつられていたり、子どもの声や太鼓の音がすごく印象に残りました。又歴史ある醤油作りやそうめん、オリーブ園など大切にお仕事されていたこと、感動いたしました。

私の住む安威の地には「阿為神社」、福井の地には「新



小豆島町池田地区の布団祭り「オシコミ」のようす

屋神社」があり、阿為神社には神輿とふとん太鼓、新屋神社にはふとん太鼓、どちらも村の中を練り歩きます。小豆島のおまつりは、町の方々の意気込みの違いを見ました。

今回の旅行が楽しいものになりましたことを感謝いたします。ありがとうございました。



オリーブ公園にて訪問団記念植樹



寒霞溪にて

姉妹都市小豆島町の宿泊施設利用補助制度について

姉妹都市小豆島町との交流促進を図るため、茨木市では小豆島町の指定宿泊施設を利用する市民の皆さんに、宿泊費用の一部を補助する制度を設けています。

●補助額

中学生以上2,000円、小学生1,500円
(1人につき4月～翌3月までの年間1泊分のみ)

●申請

宿泊日の10日前までに、申請書を市民活動推進課へ提出

●詳細

市民活動推進課(TEL.072-620-1604)へ問い合わせ
又は下記ホームページへ

〈宿泊補助ホームページ〉

<http://www.city.ibaraki.osaka.jp/kikou/shimin/shiminkatsudo/menu/shodoshima/index.html>



小豆島町へのアクセス

第28回 英語スピーチ大会 報告

11月3日(祝)第28回「英語スピーチ大会」が開催されました。指定暗唱文「A Story - The Soup Stone」を暗唱した中学生18人と、自由なテーマで自分の思いをスピーチした高校生10人の堂々とした表現力豊かな声が会場に響き渡りました。審査員の先生方や聴きにいられた方々から「レベルが高く驚いた」、「同じ課題文でも表情に個性が出ていて面白かった」、「高校生の自分の体験に基づいたスピーチに感動した」といった感想が寄せられました。

審査の合間に英語を交えた小咄と英語の歌をお楽しみいただきました。



英語を交えた小咄を一席

Ms. Rivers
による歌

中学生の部

- 第1位 脇 菜々香さん 茨木市立天王中学校 3年生
- 第2位 西川 泉希さん 立命館中学校 1年生
- 第3位 吉田 夏海さん 神戸女学院中学部 3年生

高校生の部

- 第1位 山本 真由さん 大阪府立茨木高等学校 2年生
- 第2位 黒阪 美和さん 大阪府立茨木高等学校 2年生
- 第3位 杉本 果奈さん 大阪府立福井高等学校 3年生



中学生の部



高校生の部

市民と JICA研修員との

報告

ふれあい交流

9月17日(土)、JICA大阪研修員13人が茨木市青少年野外活動センターで市民14人とバーベキューやハイキングなどを楽しみました。あいにくの空模様で、お楽しみみのスイカ割りを取りやめになりましたが、火起こし体験や「森のくまさん」の合唱などを通じて、楽しい一日を過ごしました。



火起こしに挑戦



たのしかったよ



JICA研修員とのふれあい交流に参加しませんか?

日 時: 2012年2月11日(祝)

内容、申込方法等は広報いばらき2012年1月号に掲載します。*交流の内容は未定です

問合せ先: 協会事務局 (TEL.072-620-1604)

大阪大学留学生センターホストファミリープログラム

本協会では、留学生及び地域社会がお互いの文化・習慣を正しく認識し、相互理解を深めることを目的とした「大阪大学留学生センターホストファミリープログラム (OHP)」に賛同し、ホストファミリーの登録をして頂いた会員の皆様に、大阪大学で学んでいる生徒の受入をお願いしています。9月28日と10月22日に実施された、「出会いの会」の様子をお届けします。

今回ペアになった方々からの声を、ご紹介します。

趙さん

ご飯を一緒に食べに行ったりして、楽しみたいです。日本の文化や習慣について、色々お話ができれば嬉しいです。



左：趙さん、右：岩尾さん

岩尾さん

今までにタイやシンガポールなど東南アジアの方々とは交流がありましたが、中国の方とは接点がありませんでした。今回初めて中国について知ることができるので、楽しみにしています。



ホームステイ・ホームビジット受入登録家庭募集!

茨木市国際親善都市協会では、留学生やJICA研修生を受け入れてくださるホストファミリー家庭登録を通年で募集しています。ご自宅で国際交流しませんか?

- 対象外国人 阪大留学生、JICA研修員など
- 内 容 ホームステイは学生用に1室と1日朝・夕の2食(週末・休日は3食)の提供、ホームビジットは1日のみで宿泊なし
- と き 随時、登録家庭に募集情報を郵送します
- 対 象 者 協会会員
- 申 込 協会事務局 (TEL.072-620-1604) へ登録用紙を提出

我們是朋友! 中国語で遊ぼう

11月12日(土)・26日(土)に、陸曉紅さんを講師にお招きして、子どもたちに中国語に親しんでもらう「我們是朋友!(ぼくらは友達)」が開催されました。各自で名刺を手作りし、中国語であいさつや自己紹介をしていました。

次回の実施は2月11日(土)、2月25日(土)を予定しています。

- 申 込 協会事務局 (TEL.072-620-1604) ※詳細は広報いばらき2月号でお知らせします。



We Are Friends! に集まれ!! 青少年活動室

青少年活動室では、英語でクッキング、ショッピング、ハロウィン、クリスマスなど、毎回テーマに沿って講師の久徳ウェンディー先生と一緒に英語に親しむ「We Are Friends!」を、原則4・5・7・9・10・12・2月の第3日曜日(10月は最終日曜日)にクリエイトセンターで行なっています。

- 対 象 小学4年生～中学3年生
- 連 絡 協会事務局 (TEL.072-620-1604)



ハロウィンパーティーのようす

サウスウエスト高校のみなさんが来茨

6月17日(金)に、サウスウエスト高校の生徒9人と先生2人が市長の表敬訪問をされました。同校は春日丘高校と姉妹校提携をしており、今回も春日丘高校の授業に参加し、生徒の家でホームステイを体験されました。



韓国馬山青年会議所一行が来茨

6月27日(月)、馬山青年会議所会長一行17人が市長の表敬訪問をされました。

一行は6月25日に来日し、この日市長と市政について活発に議論をされた後、帰国の途につかれました。



小豆島町長・教育長が来茨

6月27日(月)、小豆島町長の塩田幸雄さんと教育長の後藤巧さんが市長を表敬訪問されました。後藤教育長の就任あいさつに続いて、7月から復活する神戸⇄小豆島間のフェリーの話や、夏の子どもキャンプ交流等、今後の交流活動について歓談をされました。



茨木市国際親善都市協会総会開催

5月14日(土)、本協会の総会が開催され、平成22年度の事業報告・決算報告及び平成23年度の事業計画案・予算案の承認がされました。つづく「会員交流の集い」では、フルート奏者の阪口真紀さん・齋藤舞歌さん・川中志保さんをお招きし、美しい演奏に合わせて「青い山脈」「ふるさと」などを合唱しました。



会員交流の集いのようす

Ibaraki Intercultural Network (IIN) 姉妹都市活動室

姉妹都市活動室では、ミネアポリス市との交流を支えるための英語力や国際感覚の向上、異文化理解のため、ゲストスピーカーの英語によるスピーチを聞いたり、ディスカッション等を行っています。また、JICA研修員、阪大留学生や茨木市近隣に在住の外国人との交流を楽しんでいます。興味のある方は、気軽に見学に来てください。

例会 第1木曜日 午前9時30分～11時30分
第3土曜日 午後2時～4時

場所 クリエイトセンター
※協会事務局へお問合せください。

資格 茨木市国際親善都市協会会員

年会費 正会員：2,000円(18歳以上)
準会員：1,000円(中・高校生)

ホームページ：<http://www.zd.em-net.ne.jp/~iin/>

Let's learn Japanese together! 実用日本語学習会

じつようにはんごがくしゅうかい にほんご ほんご かた たい
「実用日本語学習会」では、日本語を母語としない方を対
しょう 象に、マンツーマンで日本語学習の支援を行っております。
また、がくしゅうえんしや どうじ ぼしゅう きょうみ
学習支援者も同時に募集していますので、興味のある方は、ぜひ一度見学に来てください!

とき ●《Thursday Class》1:30～ 3:00 p.m.
●《Friday Class》 10:00～11:30 a.m.

ところ ●8th Floor at City Hall Annex

ひょう ●1,500円(テキスト代は実費)
※木・金曜の両方に参加の場合は、3,000円

れんらく ●TEL 080-6178-6312

(受付9:00am～6:00pm)

ホームページ：<http://pjci.infoseek.ne.jp/>

国際交流の集いにご参加下さい!!

日時 2012年1月21日(土) 12:30~

場所 茨木市市民会館1F ドリームホール

- 内容**
- 外国人による日本語スピーチ大会
 - JICA研修員による和太鼓演奏
 - コリア国際学園生による扇の舞、テコンドー演武
 - もちつき体験
 - 参加者全員で民謡・民舞の共演
 - 東日本大震災支援物産の販売
 - 外国人との交流会など(予定)

参加 当日、直接会場へ(参加費無料)
問合先 協会事務局 (TEL.072-620-1604)



国際交流の集い (前回)



国際交流の集い (前回)



もちつき (前回)

ミネアポリス市英語学習・生活体験ツアー参加者募集!!

来夏、ミネアポリス市への英語学習ツアー参加者を募集します。ツアー内容は姉妹都市デーへの参加や、水上祭トーチパレードなど盛りだくさんです。この機会にぜひCity of Lakes (湖の街) ミネアポリス市を体験して下さい♪

滞在期間：平成24年7月頃に2週間程度(詳細は未定です)
 対象：18歳以上の協会会員および市民
 渡航費用：約26万円(予定)
 募集人員：約10人(先着順)
 内容：ミネソタ英語センターの講師による授業、市内見学、実地活動など
 申し込み：決まり次第、広報いばらきでお知らせします。



姉妹都市小豆島町の

「第35回 小豆島オリーブマラソン訪問団」参加者募集!!

初夏のさわやかな潮風と光をカラダいっぱい浴び、地中海を感じる小豆島の海岸沿いのコースを駆け抜けてみませんか。



日時：平成24年5月26日(土)~27日(日)(一泊二日)
コース種目：5キロ、10キロ、ハーフマラソン
募集人数：40名
宿泊先：湯元オリーブ温泉 ベイリゾートホテル小豆島
参加者費用：22,000円(予定。ただし協会会員は2,000円引き、市民は2,000円の宿泊補助あり、マラソン大会参加費4,000円が別途必要)
申込方法：決まり次第、広報いばらきでお知らせします。

国際親善都市協会 会員募集

主な活動内容

- 国際交流の集い
 - 市民と本市在住外国人等との「ふれあい交流」
 - 姉妹・友好都市への市民親善訪問団
 - 中・高校生の「英語スピーチ大会」など
- 〈協会ホームページ〉 <http://www.ifai.jp/>

本協会では、姉妹・友好都市をはじめ、国際交流に興味を持っておられる方々の入会をお待ちしています。会員には、年2回発行する協会報の送付や、協会が催す交流行事のご案内をいたします。

〈年会費〉個人会員(一般) 2,000円 (学生) 1,000円
 法人会員 一口 5,000円

〈申込先〉協会事務局 (市役所南館8階 市民活動推進課内)

編集・発行

茨木市国際親善都市協会

〈ホームページアドレス〉 <http://www.ifai.jp/>

〒567-8505 茨木市駅前3丁目8番13号

茨木市市民生活部市民活動推進課内

TEL.072-620-1604 FAX.072-622-7202